

Ⅲ－6 在宅医療計画における目標設定

本計画は、現在の病院医療供給体制を大きく見直すと同時に、疾病・傷病による通院困難な患者を主たる対象にした居宅における必要な受療、「かかりつけ医」としての日常の健康管理、特定疾患患者の往診、自宅または広義の居宅としての介護施設における終焉といったニーズを具現化すべく実施される計画である。

この在宅医療計画の適切な施行にあたり具体的な目標の設定は、本計画の成果の評価にとどまらず各実務者の共通認識や計画実施状況の点検といった過程評価も行い、本計画を見直す際の具体的な目安とする。

目標の設定に当たっては、目標達成のために投入される人的、財的、時間的資源を表す「インプット指標」、計画実施量の指標である「アウトプット指標」、計画を効率よく実施するための企画立案、実施過程に関する指標である「プロセス指標」、最終的な計画成果の目標設定である「アウトカム指標」、の4つの段階に整理されることが望まれる。

また、これらの目標値の設定を行う場合、全国で共通の指標と、地域の特異性を考慮した独自の指標を設定することで全国比較と同時に地域性を反映させることが可能となる。

留意すべき点は、理想の目標値ではなく実行可能な値を設定することである。そのため現状の値の調査や推計、実施可能な数値を検討する必要がある。本計画におけるアウトカム指標も同様、目標値を「当面のアウトカム指標」＝現在の倍の看取り率の達成、「本来のアウトカム指標」＝25%の看取り率の達成、の2段階に設定するよう考慮した。

以下、インプット指標、アウトプット指標、プロセス指標、アウトカム指標について、1)～4)に説明を記するとともに、各指標内容についての例示するものとする。また各指標における実施件数や割合は年間の累計で示すものとする。

1) インプット指標

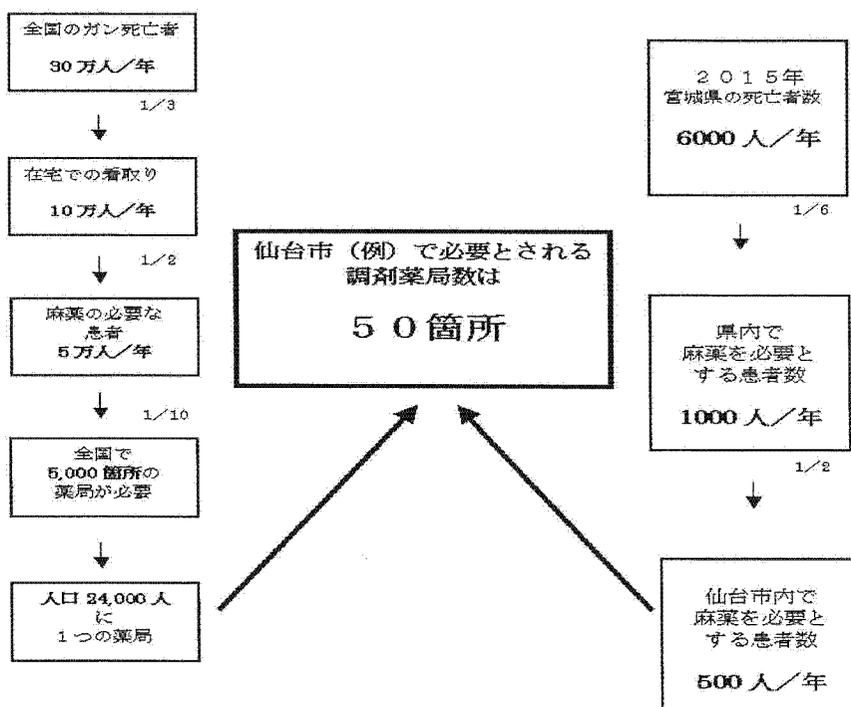
インプットとは人的資源や物的資源を投入することで、行政活動では人的・物的資源を投入の実量的なものであり、同時にその指標と換言できる。在宅医療計画においては、最終的な目標達成を目指して必要と推測される、在宅医療活動を実施できる医師数、看護師数、薬剤師数といった人的資源、在宅医療を担う在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、居宅介護事業所等の施設を含めた物的資源、それぞれの運営に必要とされる事業コストをあらわす財的資源も含めたものを指す。各数値は年間の累計で示すものとする。

インプット指標例

- (1) 各都道府県、市町村における診療所数、在宅療養支援診療所数
 (全国で在宅療養支援診療所17,000件、在宅医3万人の均てん化)
 - ・常勤医師数、非常勤医師数の実数
 - ・24時間対応の在宅療養支援診療所数、訪問看護ステーション数
 - ・受け入れ可能な患者数または施設利用者数
- (2) 連携医療機関の種類及び件数
 - ・薬局、訪問看護ステーション、介護保険施設、後方支援病院など
 : 90万人を看取る際(2038年)に必要な薬剤師数

等

年間10人の麻薬管理を可能とする調剤薬局の必要数



図Ⅲ-6-1

○仙台市における連携医療機関数（薬局）の推計例

（推計例 1）

在宅死 1/6 が麻薬を必要とする患者。宮城県の場合 2015 年の死亡者数は 6000 人。したがって 1000 人が麻薬を必要とする。さらに仙台市では半分の 500 人が麻薬を必要とするガン患者といえる。「年間 10 人／一薬局あたり」の計算でいくとちょうど仙台では 50 箇所の薬局が必要となる。

（推計例 2）

年間 30 万人はガンで亡くなり、その 30% の 10 万人を在宅で看取るとした場合、その半数が麻薬を必要とする患者である（同時に 1 人一年間 10 人程度の患者が麻薬を必要とする）。5 万人に対して麻薬を作成する場合、麻薬を扱える調剤薬局おおよそは全国で 5000 箇所の調剤薬局が必要。

《人口 24,000 人あたりに 1 箇所＝仙台市では約 50 箇所》

2) アウトプット指標

アウトプット指標はアウトカム指標の目標達成のために必要な計画実施の量的側面である。本計画を達成するために必要とされる看取り件数や夜間緊急往診件数、在宅療養支援診療所と連携する薬局等の医療機関の活動件数を具体化させることが望まれる。

在宅療養支援診療所の教育的機関の設置と教育活動の実施は支援診療所数を増やし、質の向上にも欠かせないものである。また病院退院から在宅医療への転換時に不可欠とされる調整会議（ケアカンファレンス）の実施回数もアウトプット指標の 1 つとして挙げられる。

アウトプット指標例

- （1）在宅医療を必要とする患者数調査（年間累計）
- （2）各都道府県による推計在宅死亡者数、死亡場所の調査
- （3）各都道府県に存在する在宅療養支援診療所の実数調査及び診療内容の掌握
（各都道府県・市町村の在宅療養支援診療所過不足及び充足率は本文「都道府県・市町村の在宅医療計画に関するマニュアル」付属資料を参照のこと）
- （4）診療（経管栄養、点滴や褥瘡の管理等）の内容と年間処置件数

- (5) 在宅療養指導（在宅人工呼吸指導管理など）の年間実施件数
- (6) 自宅または広義の居宅^註における看取り率及び年間件数
 - ・がん死、非がん死の看取り率及び年間件数
- (7) 夜間、休・祝日等の緊急往診の年間実施件数
- (8) 退院前ケアカンファレンスの年間実施件数
- (9) 在宅療養支援診療所と協同した地域保健・医療研修や協議の年間実施件数
- (10) 各種介護保険サービスの実施とその内容
- (11) 診療所によるグループプラクティスの実施の有無
- (12) 医師、看護師等の社会活動＝診療報酬請求不可の活動（→ 講演、執筆、テレビ出演、フォーラム・シンポジウム等の主催や参加の年間件数）

等

注）：特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、ケアハウス、グループホーム

3) プロセス指標

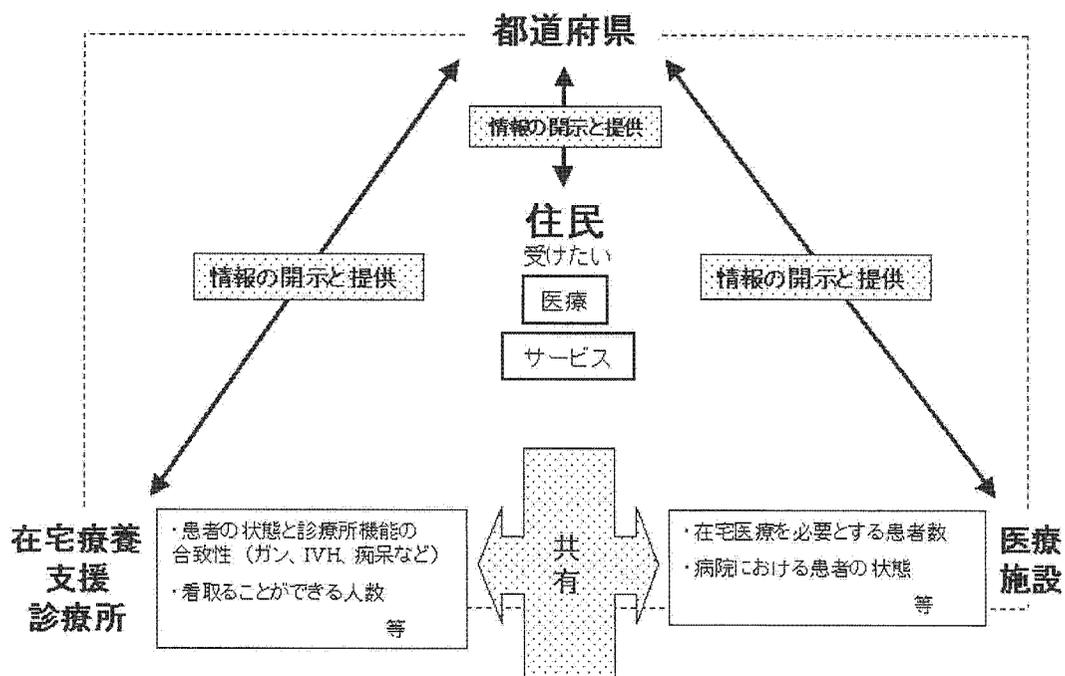
プロセス指標は本計画を効果的に実施するための、計画の企画立案、実施の過程に関する指標である。過程、作業、手順の意味を表し、在宅医療計画の実施過程を示すものである。単に実施の有無、実施件数や頻度を評価するものではなく、計画の質的一側面を評価するものである。

プロセス指標例

- (1) 都道府県単位でどのように在宅医療を周知させるか
 - ・各病院の医師に対する在宅医療及び、在宅療養支援診療所の周知方法
 - ・連携する医療関係従事者への在宅医療及び在宅療養支援診療所の周知方法
 - ・住民に対する在宅医療及び在宅療養支援診療所の周知方法
 - ：住民はどこに相談すればよいか（窓口はどこか）
 - ：近隣の在宅療養支援診療所をどのように知るか
 - ：対応可能な疾患、治療内容とは何か
 - 相談、苦情に対する窓口の設置や対策。 相談・苦情の件数把握
 - ・メディアを活用した在宅医療の周知徹底
 - ：ドキュメンタリー番組の制作や連載番組の実施
- (2) 地域連携クリティカルパスによる地域医療連携体制の有無
- (3) 逆紹介の年間件数
- (4) ケアプランの策定の有無
- (5) 自立支援計画の策定の有無

- (6) 地域の保健医療又は福祉サービスを提供する者との連携窓口設置の有無
- (7) 医師、看護師等の社会活動＝診療報酬請求不可の活動（→ 講演、執筆、テレビ出演、フォーラム・シンポジウム等の主催や参加による啓発的活動）

等



図Ⅲ-6-2

4) アウトカム指標

現在、在宅で看取りを必要とされる患者数は全国で約12万人、計画実施後の初期5年後における死亡者は30万人と推定される。在宅における看取り率は全国平均14.5%（平成16年現在）であるが、今後更なる死亡者数増加が推測されるため、看取り率の目標値は25%程度必要であると考えられる。

したがって本計画の本来のアウトカム指標は、総死亡者数の25%を自宅または広義の居宅において看取り、同時に病院死数の減少等を目指すものである。しかし、目標値と現状の看取り率には大きな開きがあり、短期間での目標達成は困難と推測される。したがってアウトカム指標を初期・後期の2段階に分類し、それぞれ「当面のアウトカム指標」、「本来のアウトカム指標」と位置づけるものとする。

「当面のアウトカム指標」は、各都道府県の現在の看取り率を「倍」に増加したものとし、「本来のアウトカム指標」は看取り率25%と設定するものとする。

その対象は、悪性腫瘍末期、在宅人工呼吸器・在宅中心静脈栄養・胃瘻経管栄養・在宅酸素療法等の種々の医療機器を携えた医療依存度の高い患者を主とするものである。

アウトカム指標例

(1) 看取り率

- ・看取り率25% (本来の目標値)
- ・当面の看取り目標は現在の看取り率の倍
- ・現在の全国平均(14.5%)に満たない都道府県は、現在の看取り率の倍

(2) 病院死の減少

- ・平均在院日数
- ・退院に占める死亡退院数
- ・死亡に占める病院死の割合

(3) 救急出動の減少

- ・在宅療養支援診療所の医師による緊急往診対応による救急車出動の減少。
- ・事故等への時間的、量的な救急対応の向上

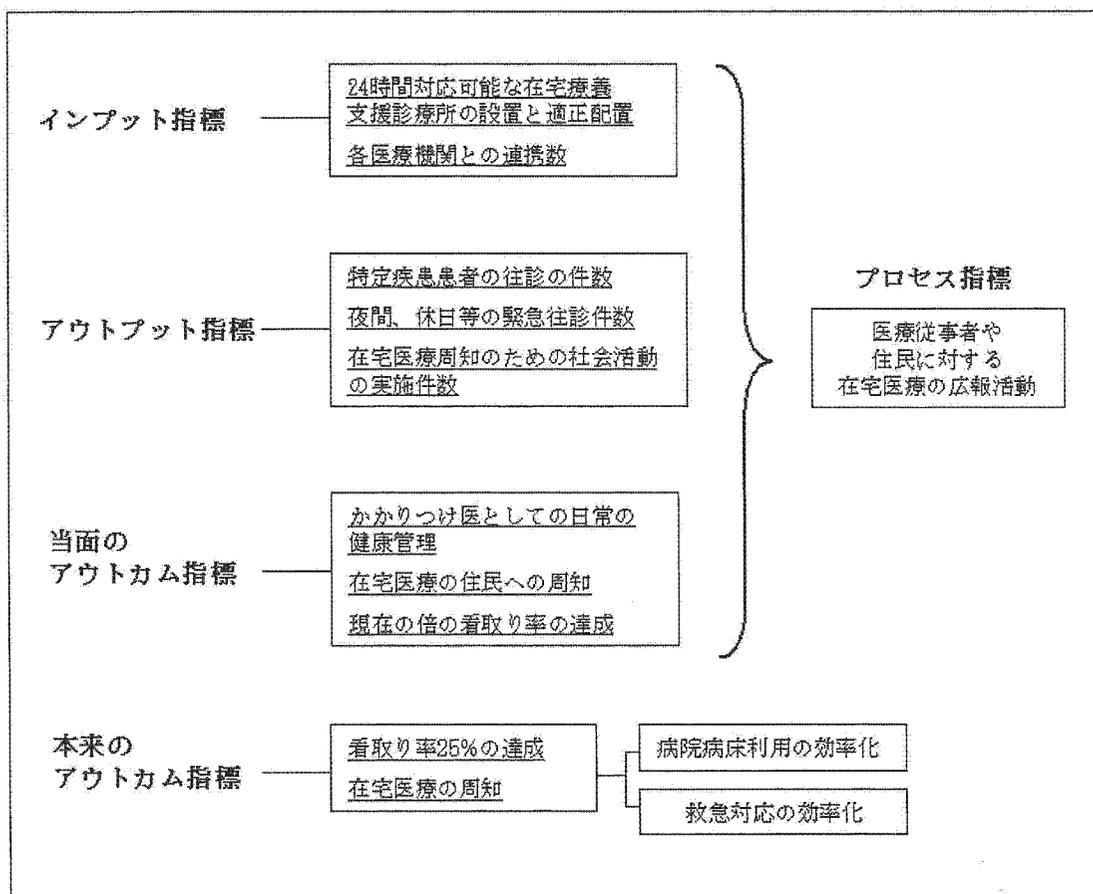
等

○各都道府県の看取り率及び在宅療養支援診療所充足率の分類と望まれる対応

- ①看取り率^低—支援診充足率^低 … 看取り数・率の向上を目指し、到達するように在宅療養支援診療所をまず増やすこと。
- ②看取り率^低—支援診充足率^高 … 支援診に対する教育や連携といった在宅医療のチームケアを学ばせること広く行う。薬局についても麻薬を扱い支援診との連携を強化させること。
- ③看取り率^高—支援診充足率^低 … 看取り率が目標値(25%)に達するようにし、在宅療養支援診療所が充足していない地域には設置するようにすること。地域の格差を是正して支援診数を増やすこと。
- ④看取り率^高—支援診充足率^高 … 目標値を超えることに問題はなく、看取り率を向上させること。質の向上に努めること。

※ ①～④それぞれに該当する都道府県についてはp98、図Ⅲ-3-4を参照のこと

○インプット指標、アウトプット指標、プロセス指標、アウトカム指標の例示



図Ⅲ-6-3

5) 調査項目の大枠 [これを参考に各医療機関における指標を6)以下に提示する]

(1) 全体指標

- ① 一次医療圏：各市町村の診療所数と在宅療養支援診療所数
- ② 市町村の調剤薬局数
- ③ 市町村の訪問看護ステーション数
- ④ 市町村の居宅介護事業所数（ホームヘルプ事業所）
- ⑤ 市町村の施設介護事業所数（特養・有料老人ホーム・グループホーム）
- ⑥ 市町村の年間死亡者数・死亡場所（病院・居宅・介護施設等）

(2) 個別指標

診療所（全般）

- ① 特定月における在宅医療をおこなっている患者数（あるいは年間の月平均数）
- ② 在宅医療をおこなっている場合：年間在宅看取り数・入院死亡数（総数とがん）
- ③ 在宅療養支援診療所の登録予定と、登録しない場合の理由

在宅療養支援診療所

- ① 特定月における患者数と在医総管・在医総算定患者数（あるいは年間の月平均数）
- ② ①の中での重症者加算の算定数・要介護度・身体障害程度区分
- ③ 在医総管・在医総算定患者の年間在宅看取り数・入院死亡数・入院生存者数
- ④ 年間がん患者在宅看取り数・入院死亡数
- ⑤ 連携している訪問看護ステーション数（24時間対応ステーションの割合等）
- ⑥ 連携している施設介護事業所数と患者数
- ⑦ 患者の薬剤の受け取り方（家族が取りに来る・薬剤師が訪問等）
- ⑧ 年間総収入に対する在宅医療点数の割合（%）
- ⑨ 表I-4-3に示される行為に関しての、介護従事者に対する知識・技術指導及び監督

連携病院

- ① 病床数・退院数
- ② 退院数の中で、診療所への逆紹介数・入所施設への紹介数
- ③ 外来患者の中で、診療所への紹介数・入所施設への紹介数
- ④ 病院が行っている在宅酸素・在宅人工呼吸器・在宅経管栄養・在宅中心静脈栄養の数
- ⑤ 病院が外来で診ているおよそ6ヶ月以内と見られる外来がん患者数
- ⑥ 入院死亡数・入院死亡がん患者数・救急医療における入院死亡数・救急以外死亡数
- ⑦ 在宅療養支援診療所と連携の有無
- ⑧ 在宅療養支援診療所との退院前ケアカンファレンスの有無・同カンファレンス実施数
- ⑨ 臨床研修指定病院：地域保健・医療研修を在宅療養支援診療所と協同実施しているか
- ⑩ 周辺の在宅療養支援診療所との連携に関する協議をおこなっているか

調剤薬局

- ① 特定月における在宅薬剤指導管理料算定患者数
- ② 特定月における経管栄養・麻薬・中心静脈栄養等の算定患者数
- ③ 在宅薬剤指導管理を今後算定していきたいか否か
- ④ ③を算定したくない理由

訪問看護ステーション

- ① 看護師数
- ② 訪問利用者数（月平均）
- ③ 利用者の要介護度・身体障害程度区分・がん患者数
- ④ 24時間対応をおこなっているか否か
- ⑤ 在宅療養支援診療所との連携の割合
- ⑥ 年間在宅看取り数
- ⑦ 表I-4-3に示される行為に関しての、介護従事者に対する知識・技術指導及び監督

居宅介護支援事業所（ホームヘルプ事業所）

- ① 利用者数（月平均）
- ② 利用者の要介護度・身体障害程度区分・がん患者数
- ③ 年間在宅看取り数
- ④ 表I-4-3に示される行為に関する知識・技術習得

施設介護事業所（特養・有料老人ホーム・グループホーム）

- ① 施設入居者数
- ② 入居者の中でのがん患者数
- ③ 年間死亡数等（入院死亡数・施設内看取り数・病院入院中の生存者数）
- ④ 家族と施設職員への看取りに関する指導・教育の有無
- ⑤ 急変時の対応：施設の体制と嘱託医師の態度
- ⑥ 在宅療養支援診療所との連携あるいは提携の状況
- ⑦ 表 I - 4 - 3 に示される行為に関する知識・技術習得

ショートステイ・デイサービス事業所

- ① 急変時の対応
- ② ショートステイ・デイサービス中の施設内看取りの有無
- ③ 在宅療養支援診療所との連携の有無
- ④ 表 I - 4 - 3 に示される行為に関する知識・技術習得

6) 各医療機関における指標

在宅療養支援診療所	
インプット指標	
1)	在宅療養支援診療所数
	・24時間対応の在宅療養支援診療所数(年間単位)
	・24時間対応なしの在宅療養支援診療所数(年間単位)
2)	患者数
	・患者数(月単位)
	・受け入れ可能な患者数(月単位)
3)	常勤医師数
4)	非常勤医師数
5)	看護師数
6)	連携病院の連携数
7)	診療所の連携数
8)	訪問看護ステーションの連携数
9)	調剤薬局の連携数
10)	居宅介護事業所の連携数
アウトプット指標	
1 在宅医療	
1)	往診(24時間往診可能な場合)の年間件数
2)	夜間、休日、祝日の緊急往診の年間件数
3)	往診(24時間対応以外)の年間件数
4)	ケアカンファレンスの年間参加件数
5)	地域連携退院時共同指導の年間実施件数
6)	在宅患者訪問診療の年間件数
7)	在宅時医学総合管理の年間件数・重症者加算の年間件数
8)	在宅末期医療総合診療の年間件数
9)	救急搬送診療の年間件数
10)	在宅患者訪問看護・指導の年間件数
11)	在宅患者訪問点滴注射管理指導の年間件数
12)	在宅訪問リハビリテーション指導管理の年間件数
13)	訪問看護指示の年間件数
14)	在宅患者訪問薬剤管理指導の年間件数

15)	在宅患者訪問栄養食事指導の年間件数
16)	歯科訪問診療の年間件数
2 在宅療養指導	
1)	退院前在宅療養指導管理の年間件数
2)	在宅自己注射指導管理の年間件数
3)	在宅自己腹膜灌流指導管理の年間件数
4)	在宅血液透析指導管理の年間件数
5)	在宅酸素療法指導管理の年間件数
6)	在宅中心静脈栄養法指導管理の年間件数
7)	在宅成分栄養経管栄養法指導管理の年間件数
8)	在宅自己導尿指導管理の年間件数
9)	在宅人工呼吸指導管理の年間件数
10)	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理の年間件数
11)	在宅悪性腫瘍患者指導管理の年間件数
12)	在宅寝たきり患者処置指導管理の年間件数
13)	在宅自己疼痛管理指導管理の年間件数
14)	在宅肺高血圧症患者指導管理の年間件数
15)	在宅気管切開患者指導管理の年間件数
16)	寝たきり老人訪問指導管理の年間件数
3 診療内容	
1)	点滴の管理の年間処置件数
2)	中心静脈栄養の年間処置件数
3)	腹膜透析の年間処置件数
4)	酸素療法の年間処置件数
5)	経管栄養の年間処置件数
6)	疼痛の管理の年間処置件数
	・医療用麻薬によるがん疼痛治療の件数
	・がんにともなう精神症状のケアの件数
7)	褥瘡の管理の年間処置件数
8)	人工肛門の管理の年間処置件数
9)	人工膀胱の管理の年間処置件数
10)	レスピレーター（人工呼吸器）の年間処置件数
11)	モニター測定（血圧・心拍等）の年間処置件数
12)	尿カテーテル（留置カテーテル等）の年間処置件数

13)	気管切開部の処置の年間件数
14)	在宅ターミナルケア対応の年間件数
4 その他	
1)	特定疾患患者の往診の年間件数
2)	在宅における看取りの年間件数
3)	グループプラクティスの年間実施件数
4)	診療報酬請求外の活動（講演、執筆、テレビ出演等）の年間件数
プロセス指標	
1)	対応可能な疾患、治療内容の公開
2)	地域の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携に対する窓口の設置
3)	逆紹介の年間件数
4)	診療報酬請求外の活動（講演、執筆、テレビ出演等）の内容
アウトカム指標	
1)	かかりつけ医としての日常の健康管理
2)	現在の倍の看取り率の達成（当面の目標）
3)	看取り率 25%の達成（本来の目標）
4)	設置窓口への相談・苦情の年間件数
5)	特定月における患者数と在医総管・在医総算定患者数の中での重症者加算の算定数 ・要介護度・身体障害程度区分
6)	在医総管・在医総算定患者の年間在宅看取り数・入院死亡数・入院生存数
7)	年間がん患者在宅看取り数・入院死亡数
8)	表 I-4-3 に示される行為に関しての、介護従事者に対する知識・技術指導及び監督

連携病院	
インプット指標	
1)	病院数
2)	病床数
	・病床数（月単位）
	・空き病床数（月単位）
3)	患者数
	・受け入れ可能な患者数（月単位）
4)	常勤医師数
5)	非常勤医師数
6)	看護師数
7)	在宅療養支援診療所の連携数
8)	診療所の連携数
9)	連携病院との連携
10)	訪問看護ステーションの連携数
11)	調剤薬局の連携数
12)	居宅介護事業所の連携数
アウトプット指標	
1 在宅医療	
1)	往診の年間件数
2)	ケアカンファレンスの年間参加件数
3)	地域連携退院時共同指導の年間件数
4)	在宅患者訪問診療の年間件数
5)	在宅時医学総合管理の年間件数
6)	在宅末期医療総合診療の年間件数
7)	救急搬送診療の年間件数
8)	在宅患者訪問看護・指導の年間件数
9)	在宅患者訪問点滴注射管理指導の年間件数
10)	在宅訪問リハビリテーション指導管理の年間件数
11)	訪問看護指示の年間件数
12)	在宅患者訪問薬剤管理指導の年間件数
13)	在宅患者訪問栄養食事指導の年間件数
14)	歯科訪問診療の年間件数

2 在宅療養指導	
1)	退院前在宅療養指導管理の年間件数
2)	在宅自己注射指導管理の年間件数
3)	在宅自己腹膜灌流指導管理の年間件数
4)	在宅血液透析指導管理の年間件数
5)	在宅酸素療法指導管理の年間件数
6)	在宅中心静脈栄養法指導管理の年間件数
7)	在宅成分栄養経管栄養法指導管理の年間件数
8)	在宅自己導尿指導管理の年間件数
9)	在宅人工呼吸指導管理の年間件数
10)	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理の年間件数
11)	在宅悪性腫瘍患者指導管理の年間件数
12)	在宅寝たきり患者処置指導管理の年間件数
13)	在宅自己疼痛管理指導管理の年間件数
14)	在宅肺高血圧症患者指導管理の年間件数
15)	在宅気管切開患者指導管理の年間件数
16)	寝たきり老人訪問指導管理の年間件数
3 診療内容	
1)	点滴の管理の年間処置件数
2)	中心静脈栄養の年間処置件数
3)	腹膜透析の年間処置件数
4)	酸素療法の年間処置件数
5)	経管栄養の年間処置件数
6)	疼痛の管理の年間処置件数
	・医療用麻薬によるがん疼痛治療の件数
	・がんにともなう精神症状のケアの件数
7)	褥瘡の管理の年間処置件数
8)	人工肛門の管理の年間処置件数
9)	人工膀胱の管理の年間処置件数
10)	レスピレーター（人工呼吸器）の年間処置件数
11)	モニター測定（血圧・心拍等）の年間処置件数
12)	尿カテーテル（留置カテーテル等）の年間処置件数
13)	気管切開部の処置の年間件数
14)	在宅ターミナルケア対応の年間件数

4 その他	
1)	在宅における看取りの年間件数
2)	グループプラクティスの年間実施件数
3)	診療報酬請求外の活動（講演、執筆、テレビ出演等）の年間件数
プロセス指標	
1)	対応可能な疾患、治療内容の公開
2)	地域の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携に対する窓口の設置
3)	逆紹介の年間件数
4)	診療報酬請求外の活動（講演、執筆、テレビ出演等）の内容
アウトカム指標	
1)	病院死の減少
	・退院数における死亡退院数の年間件数
	・死亡における病院死数の年間件数
2)	平均在院日数の減少
3)	病床の適正稼働
4)	救急出動の減少
	・急患に対する救急対応の時間的向上
	・急患に対する救急対応の量的向上
5)	設置窓口への相談・苦情の年間件数

訪問看護ステーション	
インプット指標	
1)	訪問看護ステーション数
	・ 24 時間対応の訪問看護ステーション数
	・ 24 時間対応ではない訪問看護ステーション数
2)	看護師数
3)	対応可能な患者数
4)	在宅療養支援診療所の連携数
5)	診療所の連携数
6)	連携病院との連携数
7)	訪問看護ステーションの連携数
8)	調剤薬局の連携数
9)	居宅介護事業所の連携数
アウトプット指標	
1 在宅医療	
1)	往診（24 時間往診可能な場合）の年間件数
2)	夜間、休日、祝日の緊急往診の年間件数
3)	往診（24 時間対応以外）の年間件数
4)	ケアカンファレンスの年間参加件数
5)	地域連携退院時共同指導の年間件数
6)	在宅患者訪問診療の年間件数
7)	在宅時医学総合管理の年間件数
8)	在宅末期医療総合診療の年間件数
9)	救急搬送診療の年間件数
10)	在宅患者訪問看護・指導の年間件数
11)	在宅患者訪問点滴注射管理指導の年間件数
12)	在宅訪問リハビリテーション指導管理の年間件数
13)	訪問看護指示の年間件数
14)	在宅患者訪問薬剤管理指導の年間件数
15)	在宅患者訪問栄養食事指導の年間件数
2 在宅療養指導	
1)	退院前在宅療養指導管理の年間件数
2)	在宅自己注射指導管理の年間件数

3)	在宅自己腹膜灌流指導管理の年間件数
4)	在宅血液透析指導管理の年間件数
5)	在宅酸素療法指導管理の年間件数
6)	在宅中心静脈栄養法指導管理の年間件数
7)	在宅成分栄養経管栄養法指導管理の年間件数
8)	在宅自己導尿指導管理の年間件数
9)	在宅人工呼吸指導管理の年間件数
10)	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理の年間件数
11)	在宅悪性腫瘍患者指導管理の年間件数
12)	在宅寝たきり患者処置指導管理の年間件数
13)	在宅自己疼痛管理指導管理の年間件数
14)	在宅肺高血圧症患者指導管理の年間件数
15)	在宅気管切開患者指導管理の年間件数
16)	寝たきり老人訪問指導管理の年間件数
3 診療内容	
1)	点滴の管理の年間実施件数
2)	中心静脈栄養の年間実施件数
3)	腹膜透析の年間実施件数
4)	酸素療法の年間実施件数
5)	経管栄養の年間実施件数
6)	疼痛の管理の年間実施件数
	・医療用麻薬によるがん疼痛治療の件数
	・がんにともなう精神症状のケアの件数
7)	褥瘡の管理の年間
8)	人工肛門の管理の年間件数
9)	人工膀胱の管理の年間件数
10)	レスピレーター（人工呼吸器）の年間処置件数
11)	モニター測定（血圧・心拍等）の年間処置件数
12)	尿カテーテル（留置カテーテル等）の年間処置件数
13)	気管切開部の処置の年間件数
14)	在宅ターミナルケア対応の年間件数
4 その他	
1)	特定疾患患者の往診の年間件数
2)	在宅における看取りの年間件数

3)	グループプラクティスの年間実施件数
4)	診療報酬請求外の活動（講演、執筆、テレビ出演等）の年間件数
プロセス指標	
1)	対応可能な疾患、治療内容の公開
2)	地域の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携に対する窓口の設置
3)	逆紹介の年間件数
4)	診療報酬請求外の活動（講演、執筆、テレビ出演等）の内容
アウトカム指標	
1)	在宅療養支援診療所と連携した利用者の日常の健康管理
2)	在宅療養支援診療所と連携した利用者の看取り件数の増加
3)	設置窓口への相談・苦情の年間件数
4)	表 I - 4 - 3 に示される行為に関しての、介護従事者に対する知識・技術指導及び監督

居宅サービス事業者・介護保険施設・身体障害者療護施設	
インプット指標	
1)	居宅介護事業者数
2)	居宅介護事業の年間利用者数
3)	施設介護支援施設数
4)	年間の施設入居者数 ・受け入れ可能な入居者数(月単位)
5)	在宅療養支援診療所の連携数
6)	連携病院の連携数
7)	調剤薬局の連携数
8)	診療所数の連携数
9)	訪問看護ステーションの連携数
10)	居宅介護支援事業所の連携数
11)	施設介護支援事業者所の連携数
アウトプット指標	
1 施設サービス	
1)	介護福祉施設サービスの年間実施件数
2)	介護保健施設サービスの年間実施件数
3)	介護療養施設サービスの年間実施件数
4)	ケアカンファレンスの年間参加件数
2 居宅介護支援	
1)	居宅介護支援の年間実施件数
3 居宅サービス	
1)	ケアカンファレンスの年間参加件数
2)	訪問介護の年間件数
3)	訪問入浴介護の年間件数
4)	訪問看護の年間件数
5)	訪問リハビリテーションの年間件数
6)	居宅療養管理指導の年間件数
7)	歯科診療における居宅療養管理指導の年間件数
8)	通所介護の年間件数
9)	通所リハビリテーションの年間件数
10)	短期入所生活介護の年間件数